

第三章 良好な景観の形成のための 行為の制限に関する事項

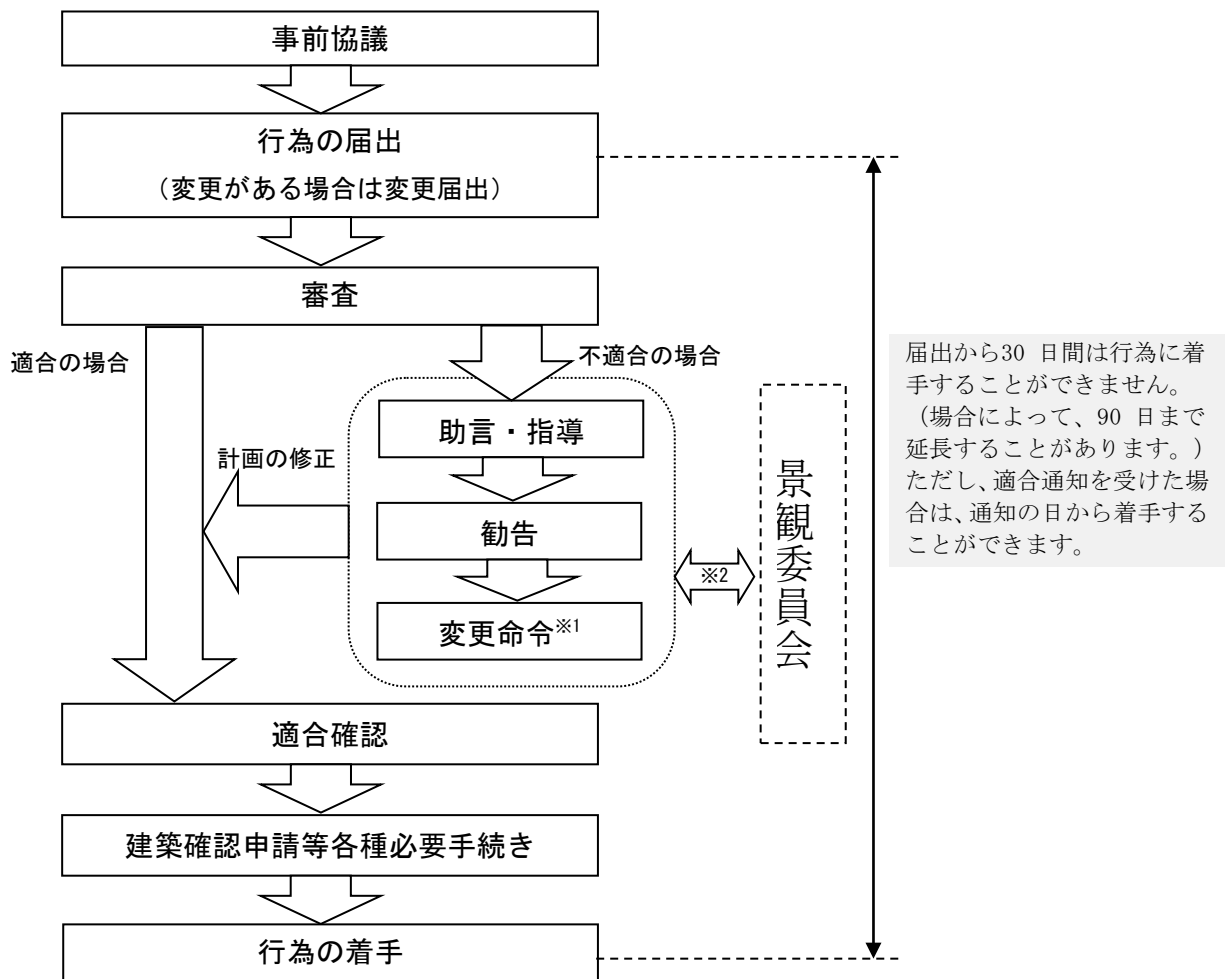
1. 景観計画に基づく届出等の手続き

(1) 景観計画に基づく手続きの概要

景観計画及び景観条例が制定されると、一定の建築・開発行為等を行う場合、届出や審査等の手続きが必要となります。

なお、国の機関又は地方公共団体が行う行為についても、景観形成基準に適合しているか協議を行うものとしします。

■景観法及び景観条例に基づく手続きの流れ



※1 変更命令は特定届出対象行為のうち、建築物又は工作物の形態又は色彩その他の意匠（形態意匠）について行うことができる。

特定届出対象行為とは届出の対象となる行為のうち、以下の2つである。

- (1) 建築物の新築、増築、改築、移転、外観の変更をすることとなる修繕・模様替又は色彩の変更
- (2) 工作物の新設、増築、改築、移転、外観の変更をすることとなる修繕・模様替又は色彩の変更

※2 景観委員会への意見聴取については、必要に応じて行う。

(2) 景観計画に関する届出について

1) 届出の対象となる行為 (届出対象行為)

景観計画では、良好な景観の形成に大きな影響を与えることが想定される行為を届出対象行為とすることができます。届出対象行為には必須事項と、町が選択できる事項があります。

【必須届出対象行為】

- ①建築物の建築等
- ②工作物の建設等
- ③開発行為

【選択可能な届出対象行為】

- ①土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘削その他土地の形質の変更
- ②木竹の植栽又は伐採
- ③さんごの採取
- ④屋外における土石、廃棄物、再生資源その他の物件の体積
- ⑤水面の埋立て又は干拓
- ⑥夜間において公衆の観覧に供するため、一定の期間建築物その他工作物又は物件(屋外にあるものに限る)の外観について行う照明
- ⑦火入れ

具体的な届出対象について必要に応じて適用除外を設けることも可能

届出対象行為について、届出の対象となる規模を定めることができます。

例えば、

- ・高さ〇m以上の建築物、工作物
- ・延床面積が〇㎡以上の建築物
- ・面積が〇㎡以上の開発行為 など

一第三章

良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項

2) それぞれの届出対象行為ごとに行為の制限（景観形成基準）

町は、届出があった場合、その行為が景観形成基準に適合しているかどうか審査することとなります。

【次に掲げる制限のうち必要なものを選択】

- ①建築物の建築又は工作物の形態又は色彩その他意匠の制限
- ②建築又は工作物の高さの最高限度又は最低限度
- ③壁面位置の制限又は建築物の敷地面積の最低限度
- ④その他法 16 条第 1 項の届出を要する行為ごとの良好な景観の形成のための制限

区域を区分して定めることも、行為の規模や類型ごとに異なる基準とすることも可能

例えば・・・

A 地区

- ・高さ 12m以下とする
- ・緑化率 5%以上とする
- ・敷地面積は 150 m²以上とする

B 地区

- ・高さ 15m以下とする
- ・緑化率の基準なし
- ・敷地面積の基準なし

2. 届出対象行為

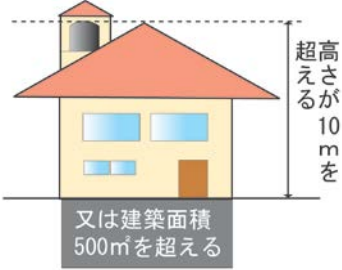

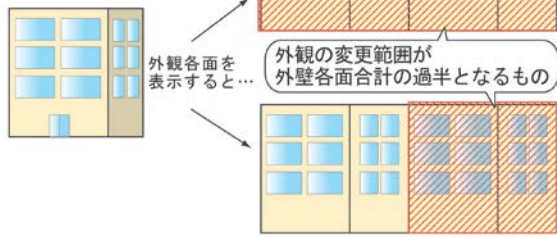
(1) 届出の対象となる行為（届出対象行為） <景観法第16条>

景観法及び景観条例に基づき、良好な景観の形成に大きな影響を与えることが想定される以下の行為を届出の対象とします。

- 1) 建築物の新築、増築、改築、移転、外観の変更をすることとなる修繕・模様替又は色彩の変更
- 2) 工作物の新設、増築、改築、移転、外観の変更をすることとなる修繕・模様替又は色彩の変更
- 3) 都市計画法第4条第12項に規定する開発行為
- 4) 土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更及び盛土の堆積
- 5) 屋外における土石、再生資源その他物件の集積又は貯蔵

(2) 届出の対象とする規模

届出対象行為について、届出の対象となる規模は以下のとおりです。

対象となる行為	地域	対象とする規模
1) 建築物の新築、増築、改築、移転、外観の変更をすることとなる修繕・模様替又は色彩の変更	自然 景観 地域	①全ての建築行為。
	集 落・農 地 景 観 地 域	①. 建築物の高さが10メートルを超えるもの。 ②. 建築物の延べ床面積が500平方メートルを超えるもの。 <div style="text-align: right;">  </div>
	市 街 地 景 観 地 域	③. ①又は②に該当する建築物のうち、外観の変更の範囲が外壁各面合計面積の過半となるもの。 <div style="text-align: right;">  </div>
	主 要 幹 線 道 路 景 観 軸	<div style="text-align: right;">  </div>

一 第三章

良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項

<p>2) 工作物の新設、増築、改築、移転、外観の変更をすることとなる修繕・模様替又は色彩の変更</p>	<p>①. 擁壁、垣（生け垣を除く）、さく、塀その他これらに類するもので、高さが3メートルを超えるもの。 ②. 彫像、記念碑、煙突、排気塔、鉄筋コンクリート造の柱、金属製の柱、電波塔、物見塔、装飾塔、記念塔、広告塔、高架水槽、冷却塔、観覧車、飛行塔、コースター、ウォーターシュート、メリーゴーランド、コンクリートプラント、アスファルトプラント、クラッシャープラント、自動車車庫の用に供する立体的な施設、石油、ガス、液化石油ガス、穀物、飼料等を貯蔵又は処理する施設、汚水処理施設、汚物処理施設、ごみ処理施設、電気供給又は有線電気通信のための電線路、空中線（その支持物を含む）その他これらに類するもののうち、高さ（工作物が建築物と一体となって設置される場合にあっては、全体の高さ）が、10メートルを超えるもの、又は築造面積が500平方メートルを超えるもの。</p>	<p>高さ3mを超える</p> <p>高さ10mを超える 築造面積 500 m² 越え</p> <p>高さ10mを超える</p>
<p>3) 都市計画法第4条第12項に規定する開発行為</p>	<p>土地の面積が1,000平方メートルを超えるもの。</p>	<p>面積が1,000 m² 越える</p>
<p>4) 土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更及び盛土の堆積</p>	<p>当該行為にかかる土地の面積が1,000平方メートルを超えるもの。</p>	<p>面積が1,000 m² 越える</p>
<p>5) 屋外における土石、再生資源その他物件の集積又は貯蔵</p>	<p>その集積又は貯蔵の高さが4メートルを超えるもの、又はその用に供される土地の面積が500平方メートルを超えるもの。</p>	<p>高さ4mを超える</p> <p>面積 500 m² 越える</p>

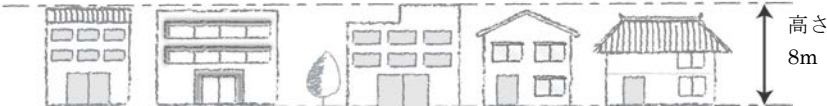
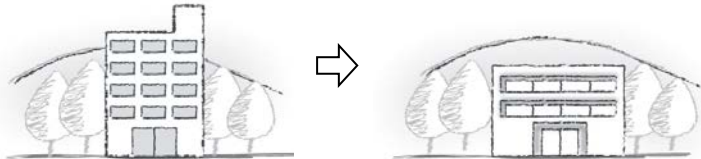
3. 景観形成基準

届出対象行為に該当する行為を行う際に遵守すべき基準（景観形成基準）を以下の項目ごとに定めます。

- 1) 建築物の新築、増築、改築、移転、外観の変更をすることとなる修繕・模様替又は色彩の変更
- 2) 工作物の新設、増築、改築、移転、外観の変更をすることとなる修繕・模様替又は色彩の変更
- 3) 都市計画法第4条第12項に規定する開発行為
- 4) 土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更及び盛土の堆積
- 5) 屋外における土石、再生資源その他物件の集積又は貯蔵

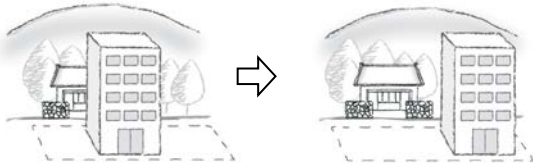
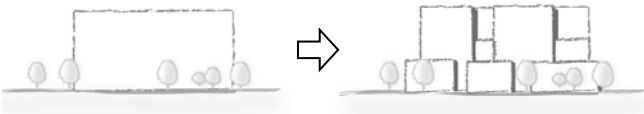
- 1) 建築物の新築、増築、改築、移転、外観の変更をすることとなる修繕・模様替又は色彩の変更

①自然景観地域

項目	景観形成基準
高さ	<p>i) 建築物の高さは、原則として高さ8メートル以下とすること。 但し、周辺の風景と調和するよう工夫された場合はこの限りではない。</p> <div style="text-align: center;">  </div>
	<p>ii) 道路などからの見方を意識し、背景となる山の稜線を超えないよう配慮すること。</p> <div style="text-align: center;">  </div>
	<p>iii) 良好な屋敷林等が周辺にある場合は、その高さを超えないよう配慮すること。</p>
	<p>iv) 周辺の主要な眺望点からの眺め（景色）に著しく影響を及ぼさない高さであること。</p>
	<p>v) 周辺にランドマークとなるような建造物や大木がある場合は、その高さを超えないよう配慮すること。</p>
	<p>vi) 海岸付近においては、道路や公園などからの見方を意識し、海岸線や岬のラインを遮らないこと。</p>
	<p>vii) 海崖のスケールに配慮した高さであること。</p>
	<p>viii) 現状を踏まえつつ、隣地や周辺との連続性に配慮した高さとする。</p>

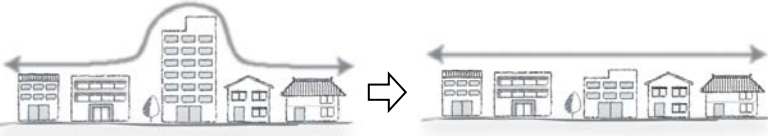
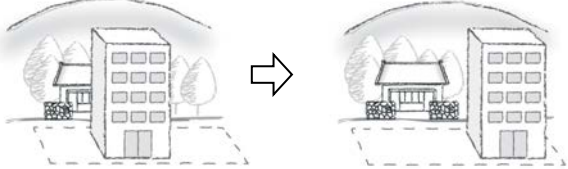
一第Ⅲ章

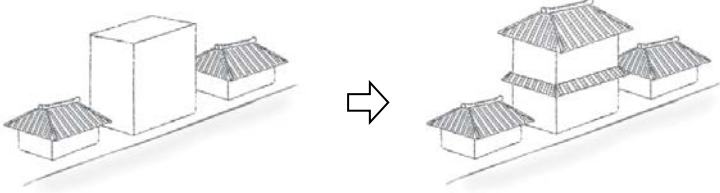
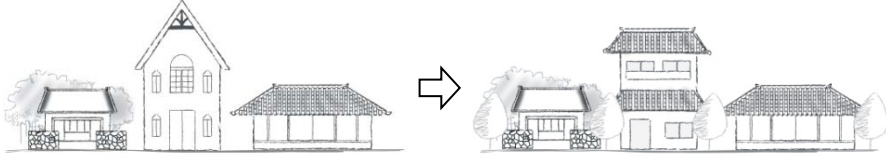

良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項

<p>配置</p>	<p>i) 周辺に御嶽等の歴史・文化的景観要素がある場合は、それらに十分に配慮した配置とすること。</p>  <p>ii) 海岸付近に建築する場合は、海への眺望に配慮した配置・規模とすること。</p> <p>iii) 現状を踏まえつつ、隣地や周辺との連続性に配慮した配置とすること。</p>																																																																													
<p>形態 意匠</p>	<p>i) 背景の山並みと調和するよう勾配屋根とする等、配慮すること。</p> <p>ii) 本町の特徴的な起伏のある地形に配慮するよう工夫すること。</p> <p>iii) 建築物が大規模になる場合は、分棟、分節、雁行等によりボリューム感を軽減し、周辺景観と調和した建築スケールとするよう努めること。</p> 																																																																													
<p>色彩</p>	<p>□屋根の色彩</p> <p>i) 極端な高彩度、低明度を避けること。</p> <p>□外壁面の色彩</p> <p>ii) 原色系の派手な色は使用せず、落ち着いた色彩（マンセル値：明度8以上、彩度2以下）とすること。</p> <p>iii) 背景となる山の緑や海の青、農地の色彩との調和に配慮すること。</p> <div data-bbox="339 1305 978 1731"> <p>色相 ← 色調 ↑</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R</th> <th>YR</th> <th>Y</th> <th>GY</th> <th>G</th> <th>EG</th> <th>B</th> <th>PB</th> <th>P</th> <th>RP</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派手</td> <td>[Red]</td> <td>[Orange]</td> <td>[Yellow]</td> <td>[Light Green]</td> <td>[Green]</td> <td>[Teal]</td> <td>[Blue]</td> <td>[Dark Blue]</td> <td>[Purple]</td> <td>[Pink]</td> </tr> <tr> <td>明るい</td> <td>[Light Red]</td> <td>[Light Orange]</td> <td>[Light Yellow]</td> <td>[Light Green]</td> <td>[Light Green]</td> <td>[Light Teal]</td> <td>[Light Blue]</td> <td>[Light Blue]</td> <td>[Light Purple]</td> <td>[Light Pink]</td> </tr> <tr> <td>淡い</td> <td>[Very Light Red]</td> <td>[Very Light Orange]</td> <td>[Very Light Yellow]</td> <td>[Very Light Green]</td> <td>[Very Light Green]</td> <td>[Very Light Teal]</td> <td>[Very Light Blue]</td> <td>[Very Light Blue]</td> <td>[Very Light Purple]</td> <td>[Very Light Pink]</td> </tr> <tr> <td>穏やか</td> <td>[Muted Red]</td> <td>[Muted Orange]</td> <td>[Muted Yellow]</td> <td>[Muted Green]</td> <td>[Muted Green]</td> <td>[Muted Teal]</td> <td>[Muted Blue]</td> <td>[Muted Blue]</td> <td>[Muted Purple]</td> <td>[Muted Pink]</td> </tr> <tr> <td>濃い</td> <td>[Dark Red]</td> <td>[Dark Orange]</td> <td>[Dark Yellow]</td> <td>[Dark Green]</td> <td>[Dark Green]</td> <td>[Dark Teal]</td> <td>[Dark Blue]</td> <td>[Dark Blue]</td> <td>[Dark Purple]</td> <td>[Dark Pink]</td> </tr> <tr> <td>暗い</td> <td>[Very Dark Red]</td> <td>[Very Dark Orange]</td> <td>[Very Dark Yellow]</td> <td>[Very Dark Green]</td> <td>[Very Dark Green]</td> <td>[Very Dark Teal]</td> <td>[Very Dark Blue]</td> <td>[Very Dark Blue]</td> <td>[Very Dark Purple]</td> <td>[Very Dark Pink]</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 基調色の範囲イメージ</p> <p>①なじみやすい色彩で、基調色のメインとなる色の範囲</p> <p>②やや彩度が高いが、基調色に含めても違和感が少ない色の範囲</p> <p>③淡い色なので基調色としても良いが、①以外の色彩は違和感を感じる場合があり、彩度を下げるなど注意が必要</p> <p>参考：沖縄県景観形成ガイドライン</p> </div>		R	YR	Y	GY	G	EG	B	PB	P	RP	派手	[Red]	[Orange]	[Yellow]	[Light Green]	[Green]	[Teal]	[Blue]	[Dark Blue]	[Purple]	[Pink]	明るい	[Light Red]	[Light Orange]	[Light Yellow]	[Light Green]	[Light Green]	[Light Teal]	[Light Blue]	[Light Blue]	[Light Purple]	[Light Pink]	淡い	[Very Light Red]	[Very Light Orange]	[Very Light Yellow]	[Very Light Green]	[Very Light Green]	[Very Light Teal]	[Very Light Blue]	[Very Light Blue]	[Very Light Purple]	[Very Light Pink]	穏やか	[Muted Red]	[Muted Orange]	[Muted Yellow]	[Muted Green]	[Muted Green]	[Muted Teal]	[Muted Blue]	[Muted Blue]	[Muted Purple]	[Muted Pink]	濃い	[Dark Red]	[Dark Orange]	[Dark Yellow]	[Dark Green]	[Dark Green]	[Dark Teal]	[Dark Blue]	[Dark Blue]	[Dark Purple]	[Dark Pink]	暗い	[Very Dark Red]	[Very Dark Orange]	[Very Dark Yellow]	[Very Dark Green]	[Very Dark Green]	[Very Dark Teal]	[Very Dark Blue]	[Very Dark Blue]	[Very Dark Purple]	[Very Dark Pink]
	R	YR	Y	GY	G	EG	B	PB	P	RP																																																																				
派手	[Red]	[Orange]	[Yellow]	[Light Green]	[Green]	[Teal]	[Blue]	[Dark Blue]	[Purple]	[Pink]																																																																				
明るい	[Light Red]	[Light Orange]	[Light Yellow]	[Light Green]	[Light Green]	[Light Teal]	[Light Blue]	[Light Blue]	[Light Purple]	[Light Pink]																																																																				
淡い	[Very Light Red]	[Very Light Orange]	[Very Light Yellow]	[Very Light Green]	[Very Light Green]	[Very Light Teal]	[Very Light Blue]	[Very Light Blue]	[Very Light Purple]	[Very Light Pink]																																																																				
穏やか	[Muted Red]	[Muted Orange]	[Muted Yellow]	[Muted Green]	[Muted Green]	[Muted Teal]	[Muted Blue]	[Muted Blue]	[Muted Purple]	[Muted Pink]																																																																				
濃い	[Dark Red]	[Dark Orange]	[Dark Yellow]	[Dark Green]	[Dark Green]	[Dark Teal]	[Dark Blue]	[Dark Blue]	[Dark Purple]	[Dark Pink]																																																																				
暗い	[Very Dark Red]	[Very Dark Orange]	[Very Dark Yellow]	[Very Dark Green]	[Very Dark Green]	[Very Dark Teal]	[Very Dark Blue]	[Very Dark Blue]	[Very Dark Purple]	[Very Dark Pink]																																																																				
<p>素材</p>	<p>i) 素材は、周辺の景観との調和に配慮したものとする。</p> <p>ii) 本町及び本県の景観特性を特徴づける地場産材をできる限り活用すること。</p> <p>iii) 耐久性に優れ、時間とともに景観に溶け込む素材をできる限り使用すること</p>																																																																													

敷地の緑化	<ul style="list-style-type: none"> i) 敷地内の緑化に努め、その緑が周辺からも眺められるよう工夫すること。 ii) 屋敷林等の良好で伝統的な景観が残された地域においては、周辺との調和を図るよう同様の樹木を植栽するよう努めること。 iii) 景観資源となる既存の緑地、樹木等を保全・活用すること。 iv) 建築物は、できるかぎり樹木等で目立たなくするなど、周辺の山並みと調和するよう努めること。 v) 大規模な駐車場を設ける場合は、可能な限り緑化に努め、緑陰を多く形成すること。
垣・柵	<ul style="list-style-type: none"> i) 可能な限り生垣又は石垣とし、ブロック塀等の人工物を用いる場合は、1メートル以下に高さを抑え、敷地内の緑が周辺に潤いを与えるよう工夫すること。 ii) 良好な景観を形成している既存の屋敷林及び石垣は、保全・活用すること。 iii) 良好な眺望がある場合は、阻害しないよう樹木の適正な管理をすること。
その他	<ul style="list-style-type: none"> i) 外壁又は屋上に設ける設備は、パラペットやルーバー等で覆い、露出させず目立たないよう配慮すること。やむを得ず露出する場合は、公共空間から見えにくい位置に設置するよう努めること。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ii) 敷地内の既存建築物等が景観を阻害している場合は、できる限り周辺の景観に調和させること。

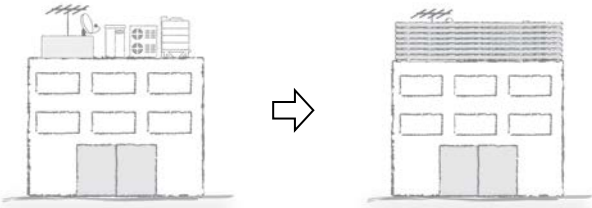
②集落・農地景観地域

項目	景観形成基準
高さ	<p>i) 建築物の高さは、原則として高さ 12 メートル以下とすること。 但し、集落地区計画区域においては、集落地区計画の規定による高さとする。</p>  <p>ii) 道路などからの見方を意識し、背景となる山の稜線を超えないよう配慮すること。</p>  <p>iii) 良好な屋敷林等が周辺にある場合は、その高さを超えないよう配慮すること。</p> <p>iv) 周辺の主要な眺望点からの眺め（景色）に著しく影響を及ぼさない高さであること。</p> <p>v) 周辺が低層の住宅地である場合は、まちなみ（スカイラインの連続性）を考慮した高さとする。</p>  <p>vi) 周辺にランドマークとなるような建造物や大木がある場合は、その高さを超えないよう配慮すること。</p> <p>vii) 現状を踏まえつつ、隣地や周辺との連続性に配慮した高さとする。</p>
配置	<p>i) 周辺に御嶽等の歴史・文化的景観要素がある場合は、それらに十分に配慮した配置とすること。</p>  <p>ii) 建築物の壁面は道路境界や敷地境界からはできる限り後退し、ゆとりと潤いのある空間の創出に配慮すること。但し、集落地区計画区域については、集落地区計画の規定に準ずること。</p>  <p>iii) 現状を踏まえつつ、隣地や周辺との連続性に配慮した配置とする。</p>

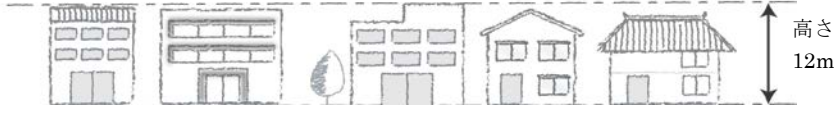


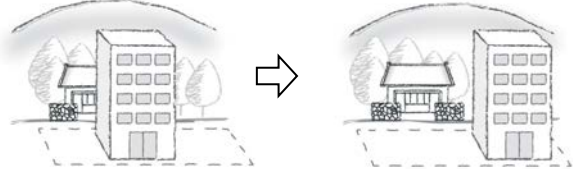
<p>形態 意匠</p>	<p>i) 伝統的な集落地域においては、周辺と調和する勾配屋根とする等配慮すること。</p>  <p>ii) 現状を踏まえつつ、隣地や周辺との連続性に配慮した形態及び意匠とすること。</p>  <p>iii) 建築物が大規模になる場合は、分棟、分節、雁行等によりボリューム感を軽減し、周辺景観と調和した建築スケールとするよう努めること。</p>  <p>iv) 本町の特徴的な起伏のある地形に配慮するよう工夫すること。</p> <p>v) 周辺の農地と調和するよう、勾配屋根とするなど配慮すること。</p>																																																																													
<p>色彩</p>	<p>□屋根の色彩</p> <p>i) 極端な高彩度、低明度を避けること。</p> <p>□外壁面の色彩</p> <p>ii) 原色系の派手な色は使用せず、落ち着いた色彩（マンセル値：明度8以上、彩度2以下）とすること。</p> <p>iii) 背景となる山の緑や海の青、農地の色彩との調和に配慮すること。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <p>色調</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>色相</th> <th>R</th> <th>YR</th> <th>Y</th> <th>GY</th> <th>G</th> <th>EG</th> <th>B</th> <th>PB</th> <th>P</th> <th>RP</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派手</td> <td>Red</td> <td>Orange</td> <td>Yellow</td> <td>Light Green</td> <td>Green</td> <td>Teal</td> <td>Blue</td> <td>Dark Blue</td> <td>Purple</td> <td>Pink</td> </tr> <tr> <td>明るい</td> <td>Light Red</td> <td>Light Orange</td> <td>Light Yellow</td> <td>Light Green</td> <td>Light Green</td> <td>Light Teal</td> <td>Light Blue</td> <td>Light Blue</td> <td>Light Purple</td> <td>Light Pink</td> </tr> <tr> <td>淡い</td> <td>Very Light Red</td> <td>Very Light Orange</td> <td>Very Light Yellow</td> <td>Very Light Green</td> <td>Very Light Green</td> <td>Very Light Teal</td> <td>Very Light Blue</td> <td>Very Light Blue</td> <td>Very Light Purple</td> <td>Very Light Pink</td> </tr> <tr> <td>穏やか</td> <td>Light Red</td> <td>Light Orange</td> <td>Light Yellow</td> <td>Light Green</td> <td>Light Green</td> <td>Light Teal</td> <td>Light Blue</td> <td>Light Blue</td> <td>Light Purple</td> <td>Light Pink</td> </tr> <tr> <td>濃い</td> <td>Dark Red</td> <td>Dark Orange</td> <td>Dark Yellow</td> <td>Dark Green</td> <td>Dark Green</td> <td>Dark Teal</td> <td>Dark Blue</td> <td>Dark Blue</td> <td>Dark Purple</td> <td>Dark Pink</td> </tr> <tr> <td>暗い</td> <td>Very Dark Red</td> <td>Very Dark Orange</td> <td>Very Dark Yellow</td> <td>Very Dark Green</td> <td>Very Dark Green</td> <td>Very Dark Teal</td> <td>Very Dark Blue</td> <td>Very Dark Blue</td> <td>Very Dark Purple</td> <td>Very Dark Pink</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="flex: 1; border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-left: 10px;"> <p>■ 基調色の範囲イメージ</p> <p>① なじみやすい色彩で、基調色のメインとなる色の範囲</p> <p>② やや彩度が高いが、基調色に含めても違和感が少ない色の範囲</p> <p>③ 淡い色なので基調色としても良いが、①以外の色彩は違和感を感じる場合があり、彩度を下げるなど注意が必要</p> </div> </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">参考：沖縄県景観形成ガイドライン</p>	色相	R	YR	Y	GY	G	EG	B	PB	P	RP	派手	Red	Orange	Yellow	Light Green	Green	Teal	Blue	Dark Blue	Purple	Pink	明るい	Light Red	Light Orange	Light Yellow	Light Green	Light Green	Light Teal	Light Blue	Light Blue	Light Purple	Light Pink	淡い	Very Light Red	Very Light Orange	Very Light Yellow	Very Light Green	Very Light Green	Very Light Teal	Very Light Blue	Very Light Blue	Very Light Purple	Very Light Pink	穏やか	Light Red	Light Orange	Light Yellow	Light Green	Light Green	Light Teal	Light Blue	Light Blue	Light Purple	Light Pink	濃い	Dark Red	Dark Orange	Dark Yellow	Dark Green	Dark Green	Dark Teal	Dark Blue	Dark Blue	Dark Purple	Dark Pink	暗い	Very Dark Red	Very Dark Orange	Very Dark Yellow	Very Dark Green	Very Dark Green	Very Dark Teal	Very Dark Blue	Very Dark Blue	Very Dark Purple	Very Dark Pink
色相	R	YR	Y	GY	G	EG	B	PB	P	RP																																																																				
派手	Red	Orange	Yellow	Light Green	Green	Teal	Blue	Dark Blue	Purple	Pink																																																																				
明るい	Light Red	Light Orange	Light Yellow	Light Green	Light Green	Light Teal	Light Blue	Light Blue	Light Purple	Light Pink																																																																				
淡い	Very Light Red	Very Light Orange	Very Light Yellow	Very Light Green	Very Light Green	Very Light Teal	Very Light Blue	Very Light Blue	Very Light Purple	Very Light Pink																																																																				
穏やか	Light Red	Light Orange	Light Yellow	Light Green	Light Green	Light Teal	Light Blue	Light Blue	Light Purple	Light Pink																																																																				
濃い	Dark Red	Dark Orange	Dark Yellow	Dark Green	Dark Green	Dark Teal	Dark Blue	Dark Blue	Dark Purple	Dark Pink																																																																				
暗い	Very Dark Red	Very Dark Orange	Very Dark Yellow	Very Dark Green	Very Dark Green	Very Dark Teal	Very Dark Blue	Very Dark Blue	Very Dark Purple	Very Dark Pink																																																																				

－第三章

良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項

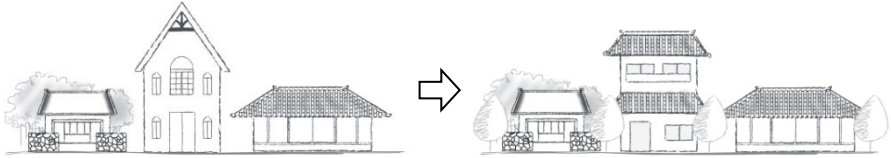
素材	<ul style="list-style-type: none"> i) 素材は、周辺の景観との調和に配慮したものとする。 ii) 本町及び本県の景観特性を特徴づける地場産材をできる限り活用すること。 iii) 耐久性に優れ、時間とともに景観に溶け込む素材をできる限り使用すること。
敷地の緑化	<ul style="list-style-type: none"> i) 敷地内の緑化に努め、その緑が周辺からも眺められるよう工夫すること。 ii) 屋敷林等の良好で伝統的な景観が残された地域においては、周辺との調和を図るよう同様の樹木を植栽するよう努めること。 iii) 景観資源となる既存の緑地、樹木等を保全・活用すること。 iv) 大規模な駐車場を設ける場合は、可能な限り緑化に努め、緑陰を多く形成すること。
垣・柵	<ul style="list-style-type: none"> i) 可能な限り生垣又は石垣とし、ブロック塀等の人工物を用いる場合は、1メートル以下に高さを抑え、敷地内の緑が周辺に潤いを与えるよう工夫すること。 ii) 良好な景観を形成している既存の屋敷林及び石垣は、保全・活用すること。 iii) 良好な眺望がある場合は、阻害しないよう樹木の適正な管理をすること。
その他	<ul style="list-style-type: none"> i) 外壁又は屋上に設ける設備は、パラペットやルーバー等で覆い、露出させず目立たないよう配慮すること。やむを得ず露出する場合は、公共空間から見えにくい位置に設置するよう努めること。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ii) 敷地内の既存建築物等が景観を阻害している場合は、できる限り周辺の景観に調和させること。

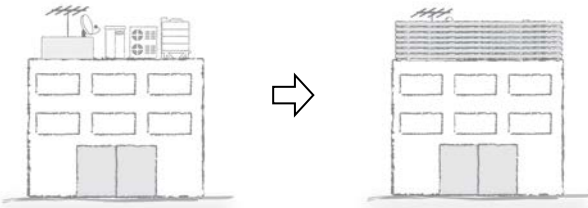
③市街地景観地域

項目	景観形成基準
高さ	<p>□地区計画区域</p> <p>i) 伊覇・屋宜原土地区画整理区域における地区計画区域は、地区計画の規定による高さとする。</p> <p>□市街化区域（地区計画区域及び主要幹線道路景観軸を除く）</p> <p>ii) 地区計画区域及び主要幹線道路景観軸を除いた市街化区域においては、建築基準法による高さとする。</p> <p>□市街化調整区域</p> <p>iii) 市街化調整区域においては、原則として高さ 12 メートル以下とすること。 但し、法的（沖縄県開発審査会提案事項等）に特に適切と認めた場合は、その限りではない。また、地区計画区域においては、地区計画の規定による高さとする。</p>  <p>iv) 周辺が低層の住宅地である場合は、まちなみ（スカイラインの連続性）を考慮した高さとする。</p>  <p>v) 周辺にランドマークとなるような建造物や大木がある場合は、その高さを超えないよう配慮すること。</p> <p>vi) 現状を踏まえつつ、隣地や周辺との連続性に配慮した高さとする。</p>
配置	<p>i) 建築物の壁面は道路境界や敷地境界からはできる限り後退し、ゆとりと潤いのある空間の創出に配慮すること。但し、地区計画区域については、地区計画の規定に準ずること。</p>  <p>ii) 周辺に御嶽等の歴史・文化的景観要素がある場合は、それらに十分に配慮した配置とすること。</p>  <p>iii) 現状を踏まえつつ、隣地や周辺との連続性に配慮した配置とする。</p>

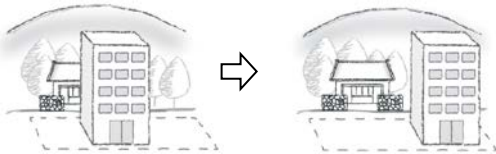
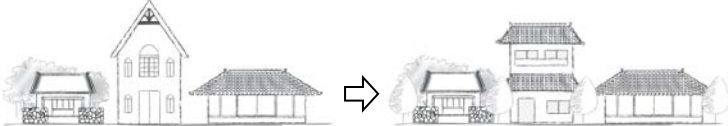
一 第三章

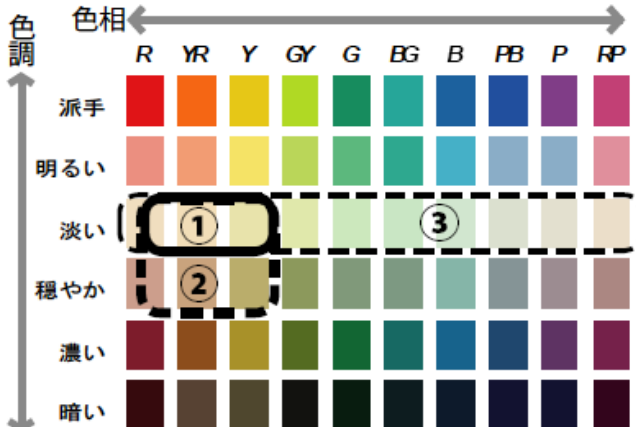
良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項

<p>形態 意匠</p>	<p>i) 現状を踏まえつつ、隣地や周辺との連続性に配慮した形態及び意匠とすること。</p>  <p>ii) 建築物が大規模になる場合は、分棟、分節、雁行等によりボリューム感を軽減し、周辺景観と調和した建築スケールとするよう努めること。</p> 																																																																																							
<p>色彩</p>	<p>□屋根の色彩</p> <p>i) 極端な高彩度、低明度を避けること。</p> <p>□外壁面の色彩</p> <p>ii) 原色系の派手な色は使用せず、落ち着いた色彩（マンセル値：明度8以上、彩度2以下）とすること。</p> <div data-bbox="336 1131 1426 1568"> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">色調</th> <th colspan="10">色相</th> </tr> <tr> <th>R</th> <th>YR</th> <th>Y</th> <th>GY</th> <th>G</th> <th>EG</th> <th>B</th> <th>PB</th> <th>P</th> <th>RP</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派手</td> <td>Red</td> <td>Orange</td> <td>Yellow</td> <td>Light Green</td> <td>Green</td> <td>Teal</td> <td>Blue</td> <td>Dark Blue</td> <td>Purple</td> <td>Pink</td> </tr> <tr> <td>明るい</td> <td>Light Red</td> <td>Light Orange</td> <td>Light Yellow</td> <td>Light Green</td> <td>Light Green</td> <td>Light Teal</td> <td>Light Blue</td> <td>Light Blue</td> <td>Light Purple</td> <td>Light Pink</td> </tr> <tr> <td>淡い</td> <td>Very Light Red</td> <td>Very Light Orange</td> <td>Very Light Yellow</td> <td>Very Light Green</td> <td>Very Light Green</td> <td>Very Light Teal</td> <td>Very Light Blue</td> <td>Very Light Blue</td> <td>Very Light Purple</td> <td>Very Light Pink</td> </tr> <tr> <td>穏やか</td> <td>Light Red</td> <td>Light Orange</td> <td>Light Yellow</td> <td>Light Green</td> <td>Light Green</td> <td>Light Teal</td> <td>Light Blue</td> <td>Light Blue</td> <td>Light Purple</td> <td>Light Pink</td> </tr> <tr> <td>濃い</td> <td>Dark Red</td> <td>Dark Orange</td> <td>Dark Yellow</td> <td>Dark Green</td> <td>Dark Green</td> <td>Dark Teal</td> <td>Dark Blue</td> <td>Dark Blue</td> <td>Dark Purple</td> <td>Dark Pink</td> </tr> <tr> <td>暗い</td> <td>Very Dark Red</td> <td>Very Dark Orange</td> <td>Very Dark Yellow</td> <td>Very Dark Green</td> <td>Very Dark Green</td> <td>Very Dark Teal</td> <td>Very Dark Blue</td> <td>Very Dark Blue</td> <td>Very Dark Purple</td> <td>Very Dark Pink</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 基調色の範囲イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ①なじみやすい色彩で、基調色のメインとなる色の範囲 ②やや彩度が高いが、基調色に含めても違和感が少ない色の範囲 ③淡い色なので基調色としても良いが、①以外の色彩は違和感を感じる場合があり、彩度を下げるなど注意が必要 <p>参考：沖縄県景観形成ガイドライン</p> </div> <p>iii) 外壁面の色彩について、派手な色（彩度10以上）を用いる場合、その使用面積は、準住居地域及び近隣商業地域の場合は見付面積の10%以内、住宅系用途の場合は5%以内とすること。</p>	色調	色相										R	YR	Y	GY	G	EG	B	PB	P	RP	派手	Red	Orange	Yellow	Light Green	Green	Teal	Blue	Dark Blue	Purple	Pink	明るい	Light Red	Light Orange	Light Yellow	Light Green	Light Green	Light Teal	Light Blue	Light Blue	Light Purple	Light Pink	淡い	Very Light Red	Very Light Orange	Very Light Yellow	Very Light Green	Very Light Green	Very Light Teal	Very Light Blue	Very Light Blue	Very Light Purple	Very Light Pink	穏やか	Light Red	Light Orange	Light Yellow	Light Green	Light Green	Light Teal	Light Blue	Light Blue	Light Purple	Light Pink	濃い	Dark Red	Dark Orange	Dark Yellow	Dark Green	Dark Green	Dark Teal	Dark Blue	Dark Blue	Dark Purple	Dark Pink	暗い	Very Dark Red	Very Dark Orange	Very Dark Yellow	Very Dark Green	Very Dark Green	Very Dark Teal	Very Dark Blue	Very Dark Blue	Very Dark Purple	Very Dark Pink
色調	色相																																																																																							
	R	YR	Y	GY	G	EG	B	PB	P	RP																																																																														
派手	Red	Orange	Yellow	Light Green	Green	Teal	Blue	Dark Blue	Purple	Pink																																																																														
明るい	Light Red	Light Orange	Light Yellow	Light Green	Light Green	Light Teal	Light Blue	Light Blue	Light Purple	Light Pink																																																																														
淡い	Very Light Red	Very Light Orange	Very Light Yellow	Very Light Green	Very Light Green	Very Light Teal	Very Light Blue	Very Light Blue	Very Light Purple	Very Light Pink																																																																														
穏やか	Light Red	Light Orange	Light Yellow	Light Green	Light Green	Light Teal	Light Blue	Light Blue	Light Purple	Light Pink																																																																														
濃い	Dark Red	Dark Orange	Dark Yellow	Dark Green	Dark Green	Dark Teal	Dark Blue	Dark Blue	Dark Purple	Dark Pink																																																																														
暗い	Very Dark Red	Very Dark Orange	Very Dark Yellow	Very Dark Green	Very Dark Green	Very Dark Teal	Very Dark Blue	Very Dark Blue	Very Dark Purple	Very Dark Pink																																																																														
<p>素材</p>	<p>i) 素材は、周辺の景観との調和に配慮したものとする。</p> <p>ii) 本町及び本県の景観特性を特徴づける地場産材をできる限り活用すること。</p> <p>iii) 耐久性に優れ、時間とともに景観に溶け込む素材をできる限り使用すること。</p>																																																																																							

敷地の 緑化	<ul style="list-style-type: none"> i) 敷地内の緑化に努め、その緑が周辺からも眺められるよう工夫すること。 ii) 屋敷林等の良好で伝統的な景観が残された地域においては、周辺との調和を図るよう同様の樹木を植栽するよう努めること。 iii) 景観資源となる既存の緑地、樹木等を保全・活用すること。 iv) 大規模な駐車場を設ける場合は、可能な限り緑化に努め、緑陰を多く形成すること。
垣・柵	<ul style="list-style-type: none"> i) 可能な限り生垣又は石垣とし、ブロック塀等の人工物を用いる場合は、1メートル以下に高さを抑え、敷地内の緑が周辺に潤いを与えるよう工夫すること。 ii) 良好な景観を形成している既存の屋敷林及び石垣は、保全・活用すること。 iii) 良好な眺望がある場合は、阻害しないよう樹木の適正な管理をすること。
その他	<ul style="list-style-type: none"> i) 外壁又は屋上に設ける設備は、パラペットやルーバー等で覆い、露出させず目立たないよう配慮すること。やむを得ず露出する場合は、公共空間から見えにくい位置に設置するよう努めること。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ii) 敷地内の既存建築物等が景観を阻害している場合は、できる限り周辺の景観に調和させること。

④主要幹線道路景観軸

項目	景観形成基準
高さ	<p>□那覇広域都市計画区域内 - 国道 507 号（旧道含む）及び県道 77 号線沿道 25m の範囲</p> <p>i) 地区計画区域については、地区計画の規定による高さとする。</p> <p>ii) 地区計画区域外の市街化区域については、伊覇・屋宜原地区地区計画の沿道商業地区の基準と同等の高さとする。</p> <p>iii) 市街化調整区域については、原則高さ 12 メートル以下とする。但し、法的（沖縄県開発審査会提案事項等）に特に適切と認めた場合はその限りではない。また、集落地区計画区域においては、集落地区計画の規定による高さとする。</p> <p>iv) 背後にある住宅など周辺環境に配慮した高さとする。</p> <p>□那覇広域都市計画区域外 - 国道 507 号及び国道 331 号沿道 25m の範囲</p> <p>v) 原則として高さ 12 メートル以下とする。 （地域サービス地区においては原則 13 メートル以下とする。但し、店舗・事務所等として利用する場合に限る。）</p>  <p>vi) 背後にある住宅など周辺環境に配慮した高さとする。</p> <p>vii) 現状を踏まえつつ、隣地や周辺との連続性に配慮した高さとする。</p>
配置	<p>i) 主要幹線道路沿いの建築物の壁面については、道路境界や敷地境界からは 1 メートル以上後退すること。</p>  <p>ii) 周辺に御嶽等の歴史・文化的景観要素がある場合は、それらに十分に配慮した配置とすること。</p>  <p>iii) 現状を踏まえつつ、隣地や周辺との連続性に配慮した配置とする。</p>
形態 意匠	<p>i) 現状を踏まえつつ、隣地や周辺との連続性に配慮した形態及び意匠とすること。</p>  <p>ii) 建築物が大規模になる場合は、分棟、分節、雁行等によりボリューム感を軽減し、周辺景観と調和した建築スケールとするよう努めること。</p>

<p>色彩</p>	<p>□屋根の色彩 i) 極端な高彩度、低明度を避けること。</p> <p>□外壁面の色彩 ii) 原色系の派手な色は使用せず、落ち着いた色彩（マンセル値：明度8以上、彩度2以下）とすること。</p> <div style="text-align: center;">  <p>色相 ← R YR Y GY G BG B PB P RP →</p> <p>色調 ↑ ↓</p> <p>派手</p> <p>明るい</p> <p>淡い</p> <p>穏やか</p> <p>濃い</p> <p>暗い</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>■ 基調色の範囲イメージ</p> <p>①なじみやすい色彩で、基調色のメインとなる色の範囲</p> <p>②やや彩度が高いが、基調色に含めても違和感が少ない色の範囲</p> <p>③淡い色なので基調色としても良いが、①以外の色彩は違和感を感じる場合があり、彩度を下げるなど注意が必要</p> </div> <p>参考：沖縄県景観形成ガイドライン</p> <p>iii) 外壁面の色彩について、派手な色（彩度10以上）を用いる場合、その使用面積は、準住居地域及び近隣商業地域の場合は見付面積の10%以内、住宅系用途の場合は5%以内とすること。</p>
<p>素材</p>	<p>i) 素材は、周辺の景観との調和に配慮したものとする。</p> <p>ii) 本町及び本県の景観特性を特徴づける地場産材をできる限り活用すること。</p> <p>iii) 耐久性に優れ、時間とともに景観に溶け込む素材をできる限り使用すること。</p>
<p>敷地の緑化</p>	<p>i) 沿道において、生垣や植栽等、可能な限り緑化に努め、緑陰を多く形成すること。また沿道に良好な樹木等がある場合は、保全すること。</p>
<p>垣・柵</p>	<p>i) 可能な限り生垣又は石垣とし、ブロック塀等の人工物を用いる場合は、1メートル以下に高さを抑え、敷地内の緑が周辺に潤いを与えるよう工夫すること。</p> <p>ii) 良好な景観を形成している既存の屋敷林及び石垣は、保全・活用すること。</p> <p>iii) 良好な眺望がある場合は、阻害しないよう樹木の適正な管理をすること。</p>
<p>その他</p>	<p>i) 外壁又は屋上に設ける設備は、パラペットやルーバー等で覆い、露出させず目立たないように配慮すること。やむを得ず露出する場合は、公共空間から見えにくい位置に設置するよう努めること。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>ii) 敷地内の既存建築物等が景観を阻害している場合は、できる限り周辺の景観に調和させること。</p>

景観形成基準（一覧表）

届出対象行為に該当する行為を行う際に遵守すべき基準（景観形成基準）を以下のとおり定めます。

1) 建築物の新築、増築、改築、移転、外観の変更をすることとなる修繕・模様替又は色彩の変更

項目	景観形成基準			
	① 自然景観地域	② 集落・農地景観地域	⑤ 市街地景観地域	⑥ 主要幹線道路景観軸
高さ	<p>■建築物の高さは、原則として高さ8メートル以下とすること。</p> <p>但し、周辺の風景と調和するよう工夫された場合はこの限りではない。</p>	<p>■建築物の高さは、原則として高さ12メートル以下とすること。</p> <p>但し、集落地区計画区域においては、集落地区計画の規定による高さとする。</p>	<p><input type="checkbox"/>地区計画区域</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">伊覇・屋宜原土地区画整理区域における地区計画区域は、<u>地区計画の規定による高さ</u>とすること。</p> <p><input type="checkbox"/>市街化区域（地区計画区域を除く）</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">建築基準法による高さとする。</p> <p><input type="checkbox"/>市街化調整区域</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">原則として高さ12メートル以下とすること。但し、法的（沖縄県開発審査会提案事項等）に特に適切と認められた場合はその限りではない。また、地区計画区域においては、地区計画の規定による高さとする。</p>	<p><input type="checkbox"/>那覇広域都市計画区域内 <国道507号（旧道含む）及び県道77号線></p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">■地区計画区域については、<u>地区計画の規定による高さ</u>とすること。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">■地区計画区域外の市街化区域については、<u>伊覇・屋宜原地区地区計画の沿道商業地区の基準と同等の高さ</u>とする。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">■市街化調整区域については、<u>原則高さ12メートル以下</u>とする。但し、法的（沖縄県開発審査会提案事項等）に特に適切と認められた場合はその限りでない。また、集落地区計画区域においては、集落地区計画の規定による高さとする。</p> <p><input type="checkbox"/>那覇広域都市計画区域外 <国道507号及び国道331号></p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">■<u>原則高さ12メートル以下</u>とする。（地域サービス地区においては原則13メートル以下とする。但し、店舗・事務所等として利用する場合に限る。）</p>
	<p>■海岸付近においては、道路や公園などからの見方を意識し、海岸線や岬のラインを遮らないこと。</p> <p>■海崖のスケールに配慮した高さであること。</p>	<p>■周辺が低層の住宅地である場合は、まちなみ（スカイラインの連続性）を考慮した高さとする。</p>		<p>■背後にある住宅など周辺環境に配慮した高さとする。</p> <p>■現状を踏まえつつ、隣地や周辺との連続性に配慮した高さとする。</p>
	<p>■周辺にランドマークとなるような建造物や大木がある場合は、その高さを超えないよう配慮すること。</p> <p>■現状を踏まえつつ、隣地や周辺との連続性に配慮した高さとする。</p>			
	<p>■道路などからの見方を意識し、背景となる山の稜線を超えないよう配慮すること。</p> <p>■良好な屋敷林等が周辺にある場合は、その高さを超えないよう配慮すること。</p> <p>■周辺の主要な眺望点からの眺め（景色）に著しく影響を及ぼさない高さであること。</p>		—	

配置	<ul style="list-style-type: none"> ■周辺に御嶽等の歴史・文化的景観要素がある場合は、それらに十分に配慮した配置とすること。 ■現状を踏まえつつ、隣地や周辺との連続性に配慮した配置とする。 			
	<ul style="list-style-type: none"> ■海岸付近に建築する場合は、著しく海への眺望を妨げない配置・規模とすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ■建築物の壁面は道路境界や敷地境界からはできる限り後退し、ゆとりと潤いのある空間の創出に配慮すること。但し、地区計画区域（または集落地区計画区域）については、地区計画（または集落地区計画）の規定に準ずること。 	<ul style="list-style-type: none"> ■主要幹線道路沿いの建築物の壁面については、道路境界や敷地境界からは1メートル以上後退すること。 	
形態 意匠	<ul style="list-style-type: none"> ■建築物が大規模になる場合は、分棟、分節、雁行等によりボリューム感を軽減し、周辺景観と調和した建築スケールとするよう努めること 			
	<ul style="list-style-type: none"> ■背景となる山並みと調和するよう勾配屋根とする等、配慮すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ■現状を踏まえつつ、隣地や周辺との連続性に配慮した形態及び意匠とすること。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ■本町の特徴的な起伏のある地形に配慮するよう工夫すること。 	—		
	—	<ul style="list-style-type: none"> ■周辺の農地と調和するよう勾配屋根とする等、配慮すること。 ■伝統的な集落地域においては、周辺と調和するよう勾配屋根とする等、配慮すること。 	—	
色彩	<ul style="list-style-type: none"> ■屋根の色彩については、極端な高彩度、低明度を避けること。 ■外壁面の色彩については、原色系の派手な色は使用せず、落ち着いた色彩（マンセル値：明度8以上、彩度2以下）とすること。 			
	<ul style="list-style-type: none"> ■背景となる山の緑や海の青、農地の色彩との調和に配慮すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ■外壁面の色彩について、派手な色（彩度10以上）を用いる場合、その使用面積は、準住居地域及び近隣商業地域の場合は見付面積の10%以内、住宅系用途の場合は5%以内とする。 		
素材	<ul style="list-style-type: none"> ■素材は、周辺の景観との調和に配慮したものとする。 ■本町及び本県の景観特性を特徴づける地場産材をできる限り活用すること。 ■耐久性に優れ、時間とともに景観に溶け込む素材をできる限り使用すること。 			
敷地の 緑化	<ul style="list-style-type: none"> ■敷地内の緑化に努め、その緑が周辺からも眺められるよう工夫すること。 ■屋敷林等の良好で伝統的な景観が残された地域においては、周辺との調和を図るよう同様の樹木を植栽するよう努めること。 ■景観資源となる既存の緑地、樹木等を保全・活用すること。 ■大規模な駐車場を設ける場合は、可能な限り緑化に努め、緑陰を多く形成すること。 			<ul style="list-style-type: none"> ■沿道において、生垣や植栽等、可能な限り緑化に努め、緑陰を多く形成すること。また沿道に良好な樹木等がある場合は、保全すること。
	<ul style="list-style-type: none"> ■建築物は、できるかぎり樹木等で目立たなくするなど、周辺の山並みと調和するよう努めること。 	—		
垣・柵	<ul style="list-style-type: none"> ■可能な限り生垣又は石垣とし、ブロック塀等の人工物を用いる場合は、1メートル以下に高さを抑え、敷地内の緑が周辺に潤いを与えるよう工夫すること。 ■良好な景観を形成している既存の屋敷林及び石垣は、保全・活用すること。 ■良好な眺望がある場合は、阻害しないよう樹木の適正な管理をすること。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■外壁又は屋上に設ける設備は、パラペットやルーバー等で覆い、露出させず目立たないよう配慮すること。やむを得ず露出する場合は、公共空間から見えにくい位置に設置するよう努めること。 ■敷地内の既存建築物等が景観を阻害している場合は、できる限り周辺の景観に調和させること。 			
項目	① 自然景観地域	② 集落・農地景観地域	③ 市街地景観地域	④ 主要幹線道路景観軸

景 観 形 成 基 準

－第三章

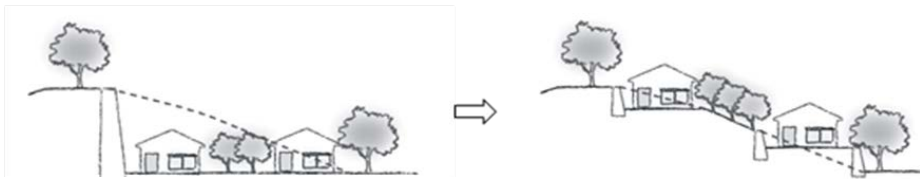
良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項

2) 工作物の新築、増築、改築、移転、外観の変更をすることとなる修繕・模様替又は色彩の変更

項目	景観形成基準
①高さ	i) 背景となる山の稜線を超えないこと。 ii) 周辺の主要な眺望点からの眺め（景色）に著しく影響を及ぼさない高さであること。
②配置	i) 既存の地形や樹木等の景観的特徴を阻害しない配置とすること。 ii) 周辺に御嶽等の歴史的景観要素がある場合は、それらに十分に配慮した配置とすること。 iii) 海岸付近に築造する場合は、著しく海への眺望を妨げない配置・規模とすること。 iv) 現状を踏まえつつ、周辺に配慮した配置とすること。 v) 電波塔等については、景観に与える影響を抑えるよう、可能な限り集約すること。
③形態意匠	i) 現状を踏まえつつ、周辺に配慮した形態及び意匠とすること。 ii) 建築物と一体的に築造する場合は、当該建築物と調和したデザインとなるよう配慮すること。
④色彩	i) 極端な高彩度、低明度を避けること。 ii) 背景となる山の緑や海の青や農地との調和に配慮すること。
⑤素材	i) 擁壁は、石積擁壁や自然の素材を用い、周辺の景観との調和を図ること。

3) 都市計画法第4条第12項に規定する開発行為

i) 大規模なのり面が生じないようにすること。



ii) のり面は可能な限り緑化可能な勾配とすること。

iii) 擁壁が生じる場合には、擁壁は直立せず、極力高さを抑えること。

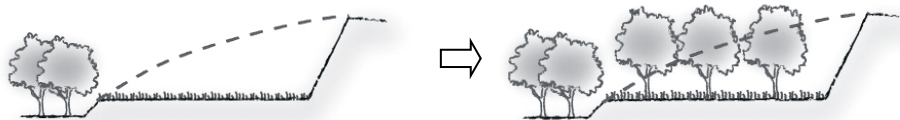
iv) 擁壁が生じる場合には、自然石や植栽等により周辺景観との調和に配慮すること。

v) 敷地内に樹姿又は樹勢の優れた樹木がある場合は、できる限り保存又は移植によって修景に活かすこと。



4) 土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更及び盛土の堆積

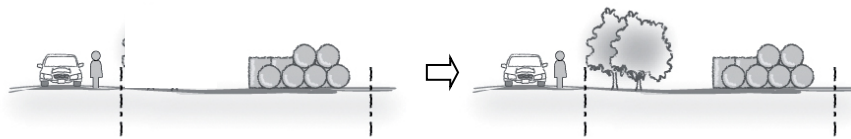
- i) 土石の採取、鉱物の掘採の方法が露天掘りでなく、かつ、採取を行う土地及びその周辺の景観に支障を及ぼすおそれが少ないこと。
- ii) 採取を終了し、又は休止するときにあつては、当該終了部分又は休止部分について、必要な埋め戻しを行い、かつ、緑化を行うこと。



- iii) 敷地周辺の緑化等、周辺の道路からの遮へいに努めること。

5) 屋外における土石、再生資源その他物件の集積又は貯蔵

- i) 集積を行う土地及びその周辺の土地の区域における景観に十分配慮すること。
- ii) 集積に係る敷地の外周に沿って、集積物を遮へいするに十分な植栽帯を設け、外から見えないよう十分配慮すること。



- iii) 但し、集積の期間が90日以内である場合はその限りではない。